



淀川三川合流域 さくらであい館

さくらであい館は、
三川合流域の人・物・情報が
集う施設です。



平成29年3月にオープンしました。シンボルである「三川・空の窓(展望塔)」は、地上約25mの高さから、春には約1.4kmにも及び桜並木を一望することができます。その他、三川合流域周辺の歴史・自然・文化を紹介し、周辺市町の観光情報を入力できる「情報発信コーナー」や、週末に物産品の販売を行う「さくらshop」、定期的にイベント等を開催している「淀(イベント広場)」、地域の皆さまが学習会や体験教室に利用できる「宇治・木津(学習室)」、桂(会議室)」があります。



TEL:075-633-5120 FAX:075-950-2953

開館時間:9:00~17:00 展望塔利用時間:9:00~16:30

休館日:12月29日~1月3日

さくらであい館ホームページでは、背割堤地区のイベント情報などを紹介しています。
<http://www.yodogawa-park.jp/>

◎淀川三川合流域って?

宇治川、木津川、桂川が合流し、淀川となるエリアを「淀川三川合流域」といいます。京都と大阪の中間、天王山と男山の緑に囲まれた雄大でスケールの大きな合流風景は、日本でもめったに見られない貴重な景観。古くから陸上・水上交通の要衝の地として栄え、歴史上さまざまなドラマの舞台となりました。

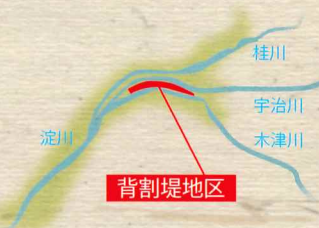


「背割堤」歴史と名称の由来は?



昭和初期の三川合流地区改修工事

明治時代まで、木津川は淀のあたりで宇治川に合流していました。しかし淀川で多数の水害が発生したため、近代の淀川改良工事が行われ、現在の流路となったのです。その際、木津川の堤防の背を割るかたちで宇治川の流路が付け加えられてできたのが「背割堤」です。背割堤は現在も、宇治川と木津川をゆるやかに合流させる役目を果たしています。



淀川全域

淀川の源は、滋賀県山間部を流れる大小の河川です。ここから流れ出た水は琵琶湖に集まり、瀬田川から宇治川へと名前を変え、桂川と木津川に合流して淀川になり、大阪湾へ流れ込みます。その流路はおよそ75km、流域面積は8,240km²になります。

爽やかな風をあびながら サイクリングコースを疾走!!

木津川上流の木津川市から桂川上流の京都嵐山まで、全長約45kmのサイクリングロードが整備されています。八幡市はそのちょうど中間地点。八幡市駅から流れ橋へサイクリングロードなら約30分。(流れ橋近くの四季彩館での返却OK)。八幡の散策はレンタサイクルを借りると便利です!



🚲 レンタサイクル

- 申込場所:八幡市駅前観光案内所(京阪電車八幡市駅前)、松花堂庭園、四季彩館
- 利用時間:午前9時~午後4時30分(四季彩館のみ午前10時~)
- 利用料金:◎変速機付自転車:1回500円
◎電動アシスト自転車(八幡市駅前観光案内所のみ):1回1,000円
※共に保証金500円別途必要(保証金は自転車返却時にお返しします)
- 各施設の休業日は利用できません。
- 返却は申込場所3箇所のどこに返却してもかまいません(電動アシスト自転車は除く)。
- 事前の予約は受け付けておりません。
- 観光シーズン(春・秋)は利用される方が多く、午前中に全車貸出の状態になる場合もあります。

※平成29年12月現在

八幡市駅前観光案内所



京阪電車八幡市駅改札を出てすぐのところに「観光案内所」では、八幡のおすすめ観光スポットをご案内しているほか、散策に便利な自転車も貸し出しています。駅に着いたら、まずはここで詳しい情報をゲット!
利用時間/午前9時~午後5時
6月~10月及び2月は月曜日定休 ※祝日の場合は開所

お問い合わせ

一般社団法人 八幡市観光協会

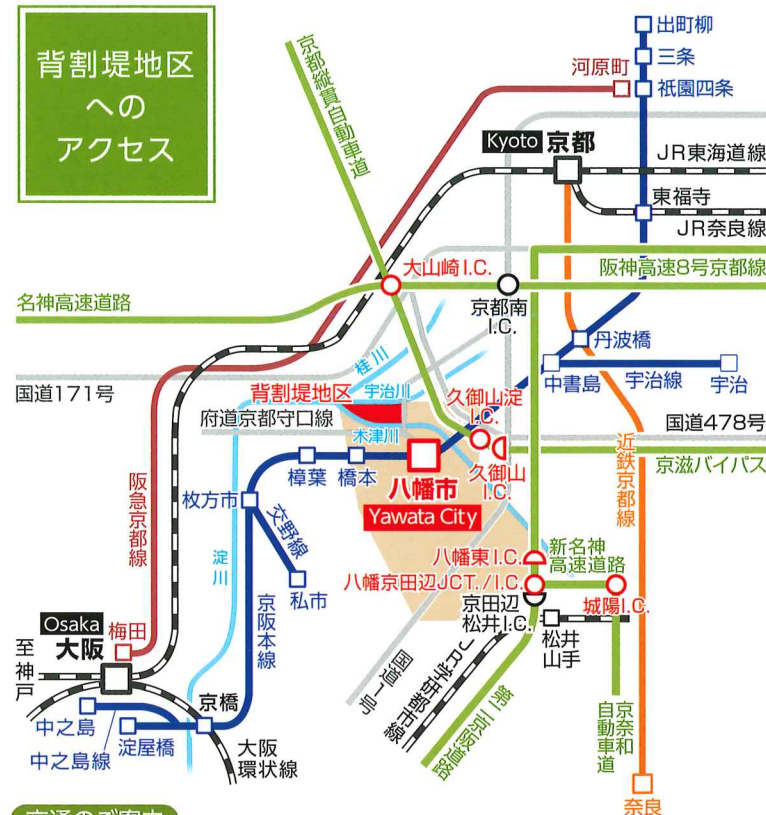
TEL.075-981-1141 <http://www.kankou-yawata.org/>

お問い合わせ

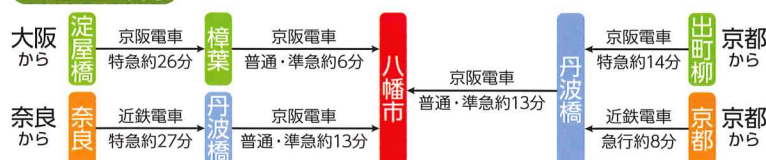
淀川河川公園 背割堤サービスセンター(さくらであい館)
TEL.075-633-5120

発行:八幡市役所(商工観光課) TEL.075-983-1111 (代)

背割堤地区 への アクセス



交通のご案内



※所要時間は目安です。ご利用する時間などにより変わります。(平成29年12月現在)

京都 八幡市

Kyoto Yawata City

淀川河川公園

せ わ り て い

背割堤地区

淀川三川合流域の自然に憩う

桂川・宇治川・木津川が合流する淀川三川合流域は、
年間通して多彩なアクティビティを楽しめるスポット。
お花見はもちろん、自然観察やウォーキング、サイクリング、
バーベキューと楽しみ方はいっぱい!!



四季ごとの自然の魅力を感じながら 遊ぶ・憩う・楽しむ

丹波から流れてきた桂川、琵琶湖から流れてきた宇治川、伊賀から流れてきた木津川。
この三川が合流する八幡市の「背割堤地区」は、美しい自然の宝庫。
春夏秋冬さまざまな表情を見せる自然の豊かさをたっぷり楽しめます。
有名な桜の季節はもちろん、初夏から冬にかけての魅力もご紹介しましょう！

Spring 春

約1.4km続く桜のトンネルに感動

春の背割堤といえば、すっかり八幡の風物詩になった桜並木。昭和53年3月、当時の建設省によって、堤沿いに植えられました。約250本のソメイヨシノが約1.4kmにもわたって続く景色はまさに圧巻。青空と桜と緑のコントラストが素晴らしく、堤防に咲く菜の花やタンポポとの競演も楽しめます。花吹雪舞う桜のトンネルを歩けば、気持ちまで桜色に染まりそう。

家族で
出かけた
観桜スポット
です！



Summer 夏

涼をもとめて自然満喫

初夏になれば、背割堤のまわりには太陽の光をキラキラ浴びた緑が生い茂ります。涼やかな川の流れ、堤防をめぐる爽やかな風。三川と山々が織りなす風光明媚な景色を存分に味わえます。また背割堤は草花や野鳥の生態観察に最適なフィールドなので、夏休みの自然研究にもおすすめ。



バーベキュー

淀川河川公園では、指定区域内でバーベキューを楽しむことができます。お天気のいい日にレゾナー！自然いっぱいの中で豪快にお肉を焼けば、おいしさアップすること間違いなし。終わったらゴミと道具を持って気持ちよく帰りましょう。※背割堤さくらまつり期間中は利用できません。



Autumn 秋

水辺の紅葉を愛でる

秋には、堤沿いに植えられたソメイヨシノが色鮮やかに紅葉。約1.4kmのプロムナードと川の水面を美しい錦色に彩ります。見頃は例年11月中旬から12月上旬頃。紅葉狩りに訪れた人たちや、バーベキューを楽しむグループで賑わいます。比較的、風の少ない時期なので、サイクリングにもベストシーズン。



さくらであい館
イベント広場や地上約25mからの眺望を楽しめる展望塔を備えた施設です。

Winter 冬

スポーツや野鳥観察を楽しむ

木々の葉が落ち、一年で最も静かな時間を迎える冬は、ジョギング、ウォーキング、サイクリングなどのスポーツを楽しむにはよい季節です。またペニマシコ・アオジ・ツグミなどの冬鳥を見られる時期でもあり、淀川の自然に包まれて過ごす様子を観察することができます。



歌碑の紹介

背割堤の入口近くには、歌碑があります。右は「新月や いつをむかしの 男山(其角)」、左は「沓音もしずかにかざす 桜かな(荷兮)」。ともに江戸時代の俳人が八幡の情緒あふれる風景を詠んだ句です。



【背割堤地区公園のご利用に関する注意事項】

◎ご利用時間/午前9時～午後5時 ◎休園日/12月29日～1月3日 ◎危険な場所へは入らないでください。
◎駐車場以外への自動車・バイク等の乗り入れは禁止です。◎バーベキューは指定区域内で行ってください。◎ゴミ類は必ずお持ち帰りください。
◎背割堤さくらまつり等イベント開催時は、淀川河川公園駐車場の利用を制限させて頂く場合がございます。